



地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



### 長野市 長野灯明まつり

「～世界に届け、平和への願い～」をテーマに、今年で23回目となる「長野灯明まつり」が開催されました。例年、2月10日前後に開催されていましたが、今年は3連休に合わせ2月20日(金)から同23日(月祝)の日程となり、春めいた中での開催となりました。善光寺表参道に並べられた多数の灯籠は「ゆめ灯り絵」と呼ばれ、この場所は「平和」を願ったキッズ部門の灯籠が並んでいます。子どもたちの平和への願いと未来への想いがこの「切り絵」に刻み込まれています。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業向け「業況・見通し」に関するアンケート ③ ..... 6
- インタビュー「変革期の経営ビジョン」 ..... 8
- 北信濃の旅人(12) 弥次郎兵衛と喜多八 ⑨ ..... 10

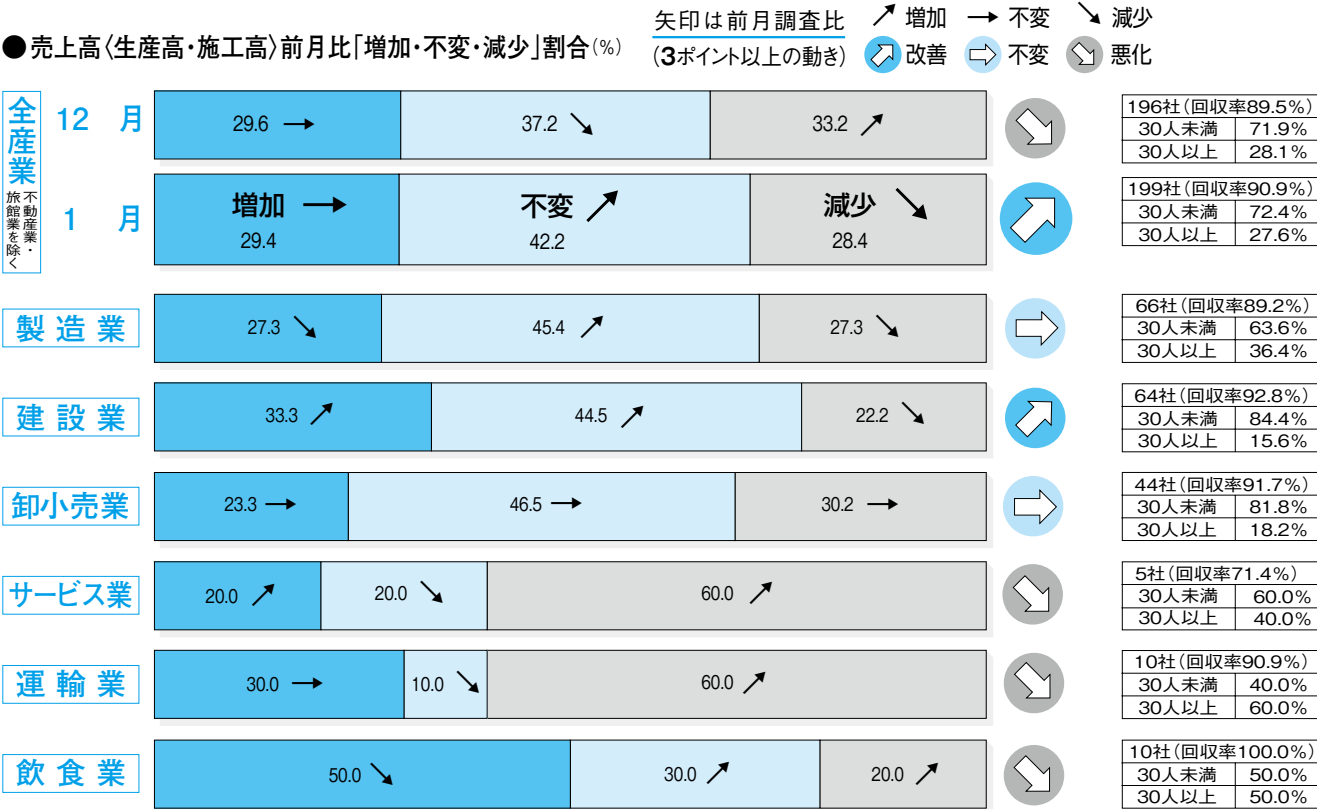
「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



# 全産業 製造業、建設業、卸小売業、サービス業

## 全産業の「売上高DI」は改善

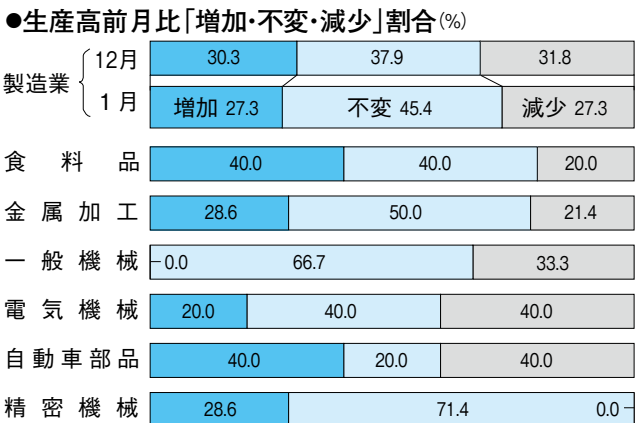
全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前月比は、増加した企業が29.4%、不変が42.2%、減少が28.4%となり、売上高DI(増加-減少)は+1.0となりました。前月調査時の▲3.6から4.6が改善しました。



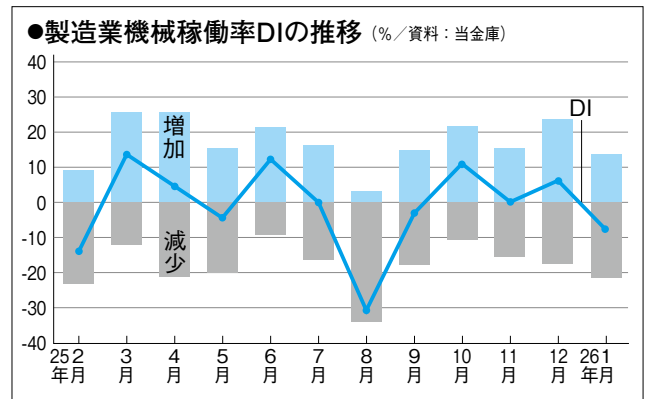
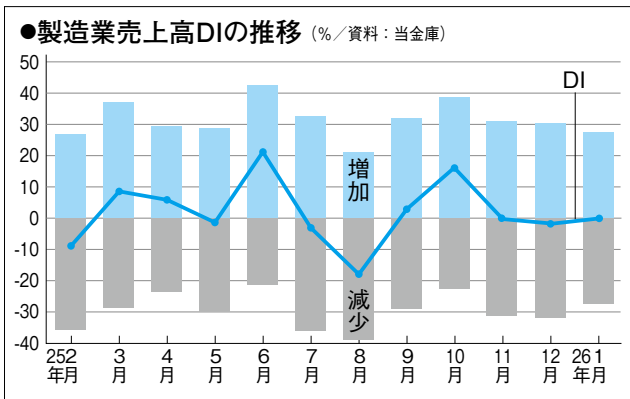
# 製造業 食料品、金属加工、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高DI」食料品、精密機械が改善し、全体も改善

製造業の生産高前月比は、増加した企業が27.3%、不変が45.4%、減少が27.3%となり、生産高DIは±0.0となりました。前月調査時の▲1.5から1.5が改善しました。



[業種別]	改善…食料品・精密機械
	悪化…金属加工・一般機械・電気機械・自動車部品
[機械稼働]	上昇企業の割合 (23.8%) → 13.8%
	低下企業の割合 (17.5%) → 21.5%
	機械稼働率DI (6.3%) → ▲7.7%
	機械稼働状況(前月比) 下降
	機械稼働率 (81.2%) → 79.7%
[受注状況]	増加企業の割合 (23.3%) → 10.0%
	減少企業の割合 (15.0%) → 21.7%
	受注状況(前月比) 下降
	受注残高(1.7ヵ月) → 2.0ヵ月
[受注基調]	上昇企業の割合 (26.2%) → 23.1%
	下降企業の割合 (20.0%) → 26.2%
	受注基調(前月比) 下降

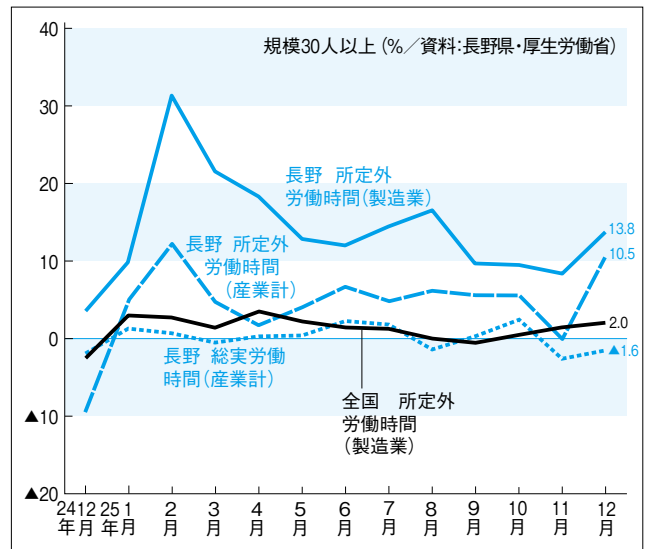


**企業からのコメント**

- ☆★原材料高騰や為替変動、各国政策の不確実性によりコスト増ならびに資材の安定確保への対応が必要となっている。(電子部品)
- ★年末商戦までは好調であったが、年明けは急に動きが悪くなってしまった。土・日のたびに大雪の報道があり、出掛ける人が減少になったとも考えられる。(食品)
- ★建物、特に箱物を建設する情報が極端に減少しているため、今後の見込みは良くない。(金属製品)
- ☆★国産米の価格上昇により商品を値上げした。“県産加工用米等価格高騰対策事業補助金”を有効活用していく。(食品)
- ☆従来は売上入金時に振込手数料が差し引かれて振り込まれていたが、下請法の改正(取適法)により、1月から差し引かれなくなり助かっている。(プラスチック成形・組立)

●長野県の労働時間の動き<2025年12月>

長野県が発表した製造業の一人平均所定外労働時間の前年同月比は13.8%増となり、12カ月連続で前年同月を上回りました。



**生産は5カ月連続の低下  
前年同月比は6カ月連続の低下**

◇2025年12月の長野県鉱工業指数

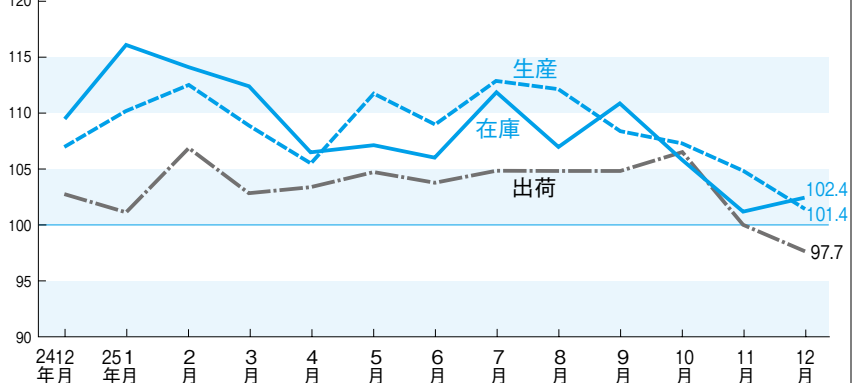
(速報：季節調整済指数)

生産は101.4(前月比▲3.3%)で5カ月連続の低下、出荷は97.7(同▲2.3%)で2カ月連続の低下、在庫は102.4(同+1.3%)で3カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は107.7(前年同月比▲3.3%)で6カ月連続の低下、出荷は103.9(同▲3.4%)で2カ月連続の低下、在庫は102.4(同▲6.5%)で3カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料:長野県)



[生産] 上昇…情報通信機械、食料品、電子部品・デバイスなど4業種  
低下…輸送機械、化学、汎用・生産用・業務用機械など13業種

[出荷] 上昇…食料品、情報通信機械、紙・紙加工品など5業種  
低下…輸送機械、その他、汎用・生産用・業務用機械など12業種

[在庫] 上昇…電子部品・デバイス、プラスチック製品、電気機械など8業種  
低下…汎用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品、情報通信機械など8業種

# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高DI」総合建設が悪化するも、全体は改善

### 概況

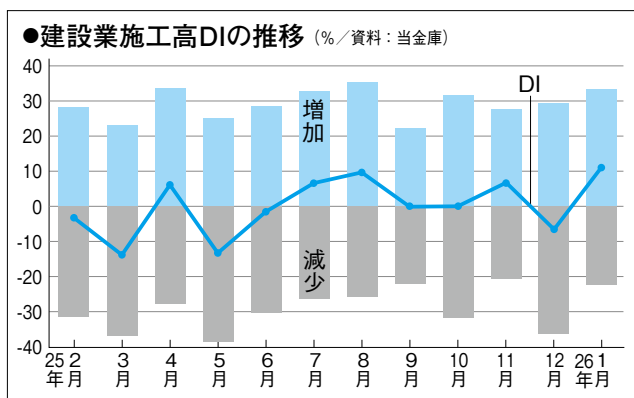
建設業の施工高前月比は、増加した企業が33.3%、不変が44.5%、減少が22.2%となり、施工高DIは+11.1となりました。前月調査時の▲6.6から17.7%改善しました。

#### ●施工高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

建設業	12月	29.5	34.4	36.1
	1月	増加 33.3	不変 44.5	減少 22.2
総合建設業	10.0	60.0	30.0	
土木工事業	25.0	41.7	33.3	
建築業	35.0	45.0	20.0	
各種設備業	41.7	50.0	8.3	

【業種別】改善…土木工事・建築・各種設備  
悪化…総合建設

【受注状況】「多い・適正」企業の割合(61.0%) → 59.0%  
「少ない」企業の割合(39.0%) → 41.0%  
受注状況(前月比) 下降  
受注高月商倍率(3.1カ月) → 3.8カ月



### 企業からのコメント

☆公共土木工事は、受注後の設計・工程変更、工期延長等が多い。民間建築は、見積り引合いが多いが契約までに時間を要している。

★衆議院解散に伴う選挙後の国内政治・経済の不安やトランプ政権による世界経済の不安、加えて持続的な物価高騰・人手不足により苦戦を強いられている。(以上、総合建設)

★案件が少なく、受注の取り合いになっており、単価も下がっている。一方、相変わらず材料価格の値上がりは止まっていない。(鉄筋工事)

### 4～1月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県全体の4～1月の発注合計は、2,128億円(前年同期比+2.2%)となりました。前年比増加は「国」の330億円(同+28.8%)、「市町村」の759億円(同+17.9%)、減少は「県」の558億円(同▲4.0%)、「その他」の480億円(同▲19.5%)でした。

北信地区市町村の発注合計は320億円(同+61.9%)で、うち長野市は225億円(同+145.2%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2026年1月/2025年4月～2026年1月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証(株))

		2026年1月	前年同期比	2025年4月～2026年1月	前年同期比
		長野県	国	661	▲78.0%
長野県	県	2,038	▲32.7%	55,818	▲4.0%
	市町村	2,952	+8.2%	75,885	+17.9%
	その他	430	+8.5%	48,045	▲19.5%
	合計	6,082	▲33.6%	212,806	+2.2%
北信地区	市町村	903	▲23.7%	31,933	+61.9%
	(内長野市)	646	+96.4%	22,534	+145.2%

### 4～1月の新設住宅着工戸数

長野県全体の4～1月の新設住宅着工戸数は8,245戸(前年同期比▲14.4%)でした。持家が4,443戸(同▲14.4%)、貸家が2,505戸(同▲7.1%)、分譲が1,201戸(同▲28.8%)、給与が96戸(同+57.4%)です。

北信地区の4～1月の新設住宅着工戸数は2,030戸(同▲20.6%)でした。持家が1,054戸(同▲21.8%)、貸家が593戸(同▲5.4%)、分譲が349戸(同▲39.8%)、給与が34戸(同+1033.3%)です。

#### ●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数

(2026年1月/2025年4月～2026年1月累計) (資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
		長野県	1月	479戸	105戸	177戸
	前年同月比	+30.5%	▲64.4%	▲50.6%	±0.0%	▲25.3%
	4～1月	4,443戸	2,505戸	1,201戸	96戸	8,245戸
	前年同月比	▲14.4%	▲7.1%	▲28.8%	+57.4%	▲14.4%
北信地区	1月	121戸	40戸	50戸	0戸	211戸
	前年同月比	+26.0%	▲56.5%	▲83.4%	——	▲56.9%
	(内長野市)	85戸	34戸	44戸	0戸	163戸
	前年同月比	+46.6%	▲49.3%	▲85.4%	——	▲61.8%
	4～1月	1,054戸	593戸	349戸	34戸	2,030戸
	前年同月比	▲21.8%	▲5.4%	▲39.8%	+1033.3%	▲20.6%

## 卸小売業

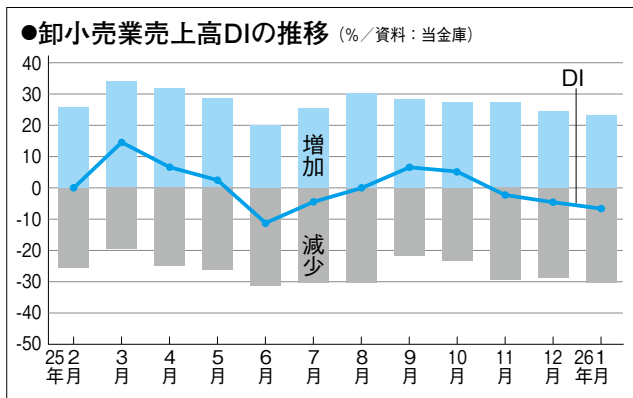
卸売業、小売業

### 「売上高DI」卸売は改善、小売は悪化

卸小売業の売上高前月比は、増加した企業が23.3%、不変が46.5%、減少が30.2%となり、売上高DIは▲6.9となりました。前月調査時の▲4.5から2.4ポイント悪化しました。

#### ●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	12月	24.4	46.7	28.9
	1月	増加 23.3	不変 46.5	減少 30.2
卸売業		27.8	44.4	27.8
小売業		20.0	48.0	32.0



【業種別】改善…卸売業 悪化…小売業

1月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……114.1(前月比+0.1)

(前年同月比+0.8%)(53カ月連続プラス)

上昇…「家具・家事用品」「食料」「諸雑費」「交通・通信」  
下落…「被服及び履物」「保健医療」「教養娯楽」  
「光熱・水道」「住居」

◇生鮮食品を除く総合指数…113.1(前月比同水準)

(前年同月比+1.3%)(54カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

- ★1月は書き入れ時だったが例年に比べ初詣客がやや減少したため、売上も減少した。(土産品)
- ★さまざまな物価の値上がりのせいかはわからないが、個人のお客様の注文金額が以前に比べ下がってきた。(健康食品)
- ☆★販売点数は増加傾向にあるが、単価下落の影響が大きく売上高の伸びは鈍い状況である。この傾向は当面続くものと見られる。(青果物卸)

## サービス業

サービス、運輸、飲食、宿泊

### 「売上高DI」サービス、運輸、飲食はともに悪化

サービス業 売上高前月比は、増加した企業が20.0%、不変が20.0%、減少が60.0%となり、売上高DIは前月比6.7ポイント悪化の▲40.0となりました。

運輸業 売上高前月比は、増加した企業が30.0%、不変が10.0%、減少が60.0%となり、売上高DIは前月比10.0ポイント悪化の▲30.0となりました。

飲食業 売上高前月比は、増加した企業が50.0%、不変が30.0%、減少が20.0%となり、売上高DIは前月比20.0ポイント悪化の+30.0となりました。

宿泊業 入込数は前月比9.7%の減少で、前年同月比でも5.8%の減少となりました。

#### 企業からのコメント

☆★従来はコストに対する意識が高かったため一般道を使うことが多かったが、昨今の労働時間の管理厳格化により、高速道路を使って時間短縮を図る必要性も高まってきた。

☆★業界大手では多重下請け構造改善の取り組みが行われている。それに伴いM&Aや倒産が増加していると考えられる。(以上、運輸)

☆★外国人の来店頻度が増えているが、日本人の来店はかなり少なくなってきている。(そば店)

☆★正月休みが曜日の関係で売上が減少した。地元日帰り客利用は例年どおりだったが、宿泊客(県内外、OTA)は少なかった。

☆★県外団体客は少なかったが県内(長野、上田、佐久)の小グループの利用が多かった。去年より企業の新年会が伸びた。(以上、旅館)

#### ●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	12月	16.7	33.3	50.0
	1月	増加 20.0	不変 20.0	減少 60.0
運輸業	12月	30.0	20.0	50.0
	1月	30.0	10.0	60.0
飲食業	12月	62.5	25.0	12.5
	1月	50.0	30.0	20.0

業界の市場の将来性 「拡大する」5.6% 「縮小する」27.9%

重点的な経営課題 「人材の確保・育成」49.3%  
「事業の販路・市場拡大」33.5%

アンケート  
2026年の経営見通し ③  
2025年12月調査

業界の市場の将来性

「拡大する」はわずか 5.6%

「業界全体の市場の将来性をどのように認識しているか」を聞きました。

全産業で見ると、「市場規模は拡大する」は5.6%に過ぎず、47.9%の企業は「市場規模は横ばいで進む」と答え、27.9%の企業が「市場規模は縮小する」と答えています。これは昨年同時期の調査と比べると、「市場規模は拡大する」が▲0.1%、「市場規模は横ばいで進む」が+4.1%、「市場規模は縮小する」が▲4.5%となっています。

従業員規模で見ると、30人以上は30人未満より「市場規模は拡大する」が11.0%高く13.6%、「市場

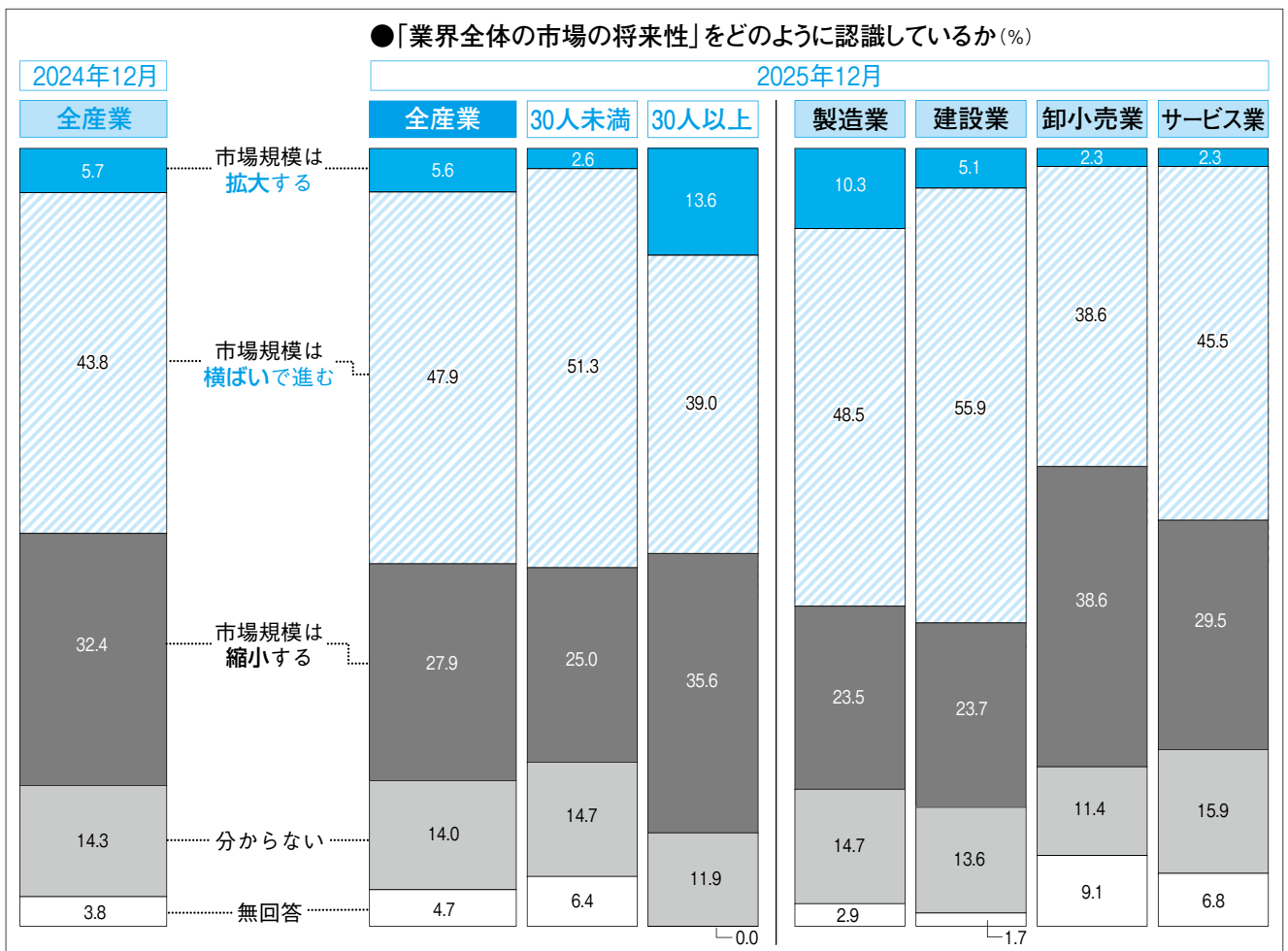
規模は縮小する」が10.6%高く35.6%となりました。一方で30人未満は30人以上より「市場規模は横ばいで進む」が12.3%高く51.3%となりました。

◇4業種

**製造業** 「拡大する」は前年比+1.5%の10.3%、「横ばい」は同+5.9%の48.5%、「縮小する」は同▲7.4%の23.5%となり、前年同時期の調査に比べ先行き見通しは改善しています。なお、「拡大する」は4業種の中で最も高くなっています。

**建設業** 「拡大する」は前年比+2.2%の5.1%、「横ばい」は同+13.9%の55.9%、「縮小する」は同▲12.5%の23.7%となり、前年同時期の調査に比べ先行き見通しは改善しています。

**卸小売業** 「拡大する」は前年比▲2.7%の2.3%、「横ばい」は同▲1.4%の38.6%、「縮小する」は同+3.6



業の38.6%となり、前年同時期の調査に比べ先行き見通しはやや悪化しています。なお、「縮小する」は4業種の中で最も高くなっています。

**サービス業** 「拡大する」は前年比▲3.8割の2.3%、「横ばい」は同▲9.0割の45.5%、「縮小する」は同+5.3割の29.5%となり、前年同時期の調査に比べ先行き見通しはやや悪化しています。

## 重点的な経営課題

### 「人材の確保・育成」が49.3%でトップ

「今後、重点的に取り組みたい経営課題は何か」を聞きました。

上位3項目を見ると「人材の確保・育成」(49.3%)、「事業の販路・市場拡大」(33.5%)、「製品・サービスの高付加価値化」(24.2%)となっています。

#### ◇従業員規模

重点的に取り組みたい経営課題のうち、30人以上の企業が30人未満の企業を上回っている項目は、差の大きい順に「人材の確保・育成」(69.5%)が+27.8割、「IT化の推進」(20.3%)が+14.5割、「製

品・サービスの高付加価値化」(33.9%)が+13.4割などとなりました。

逆に30人未満の企業が30人以上の企業を上回っている項目は、差の大きい順に「事業承継問題」(21.2%)が+17.8割、「資金調達・資金繰り改善」(10.3%)が+6.9割、「新たな収益源の確立」(23.7%)が+3.4割などとなりました。

#### ◇4業種

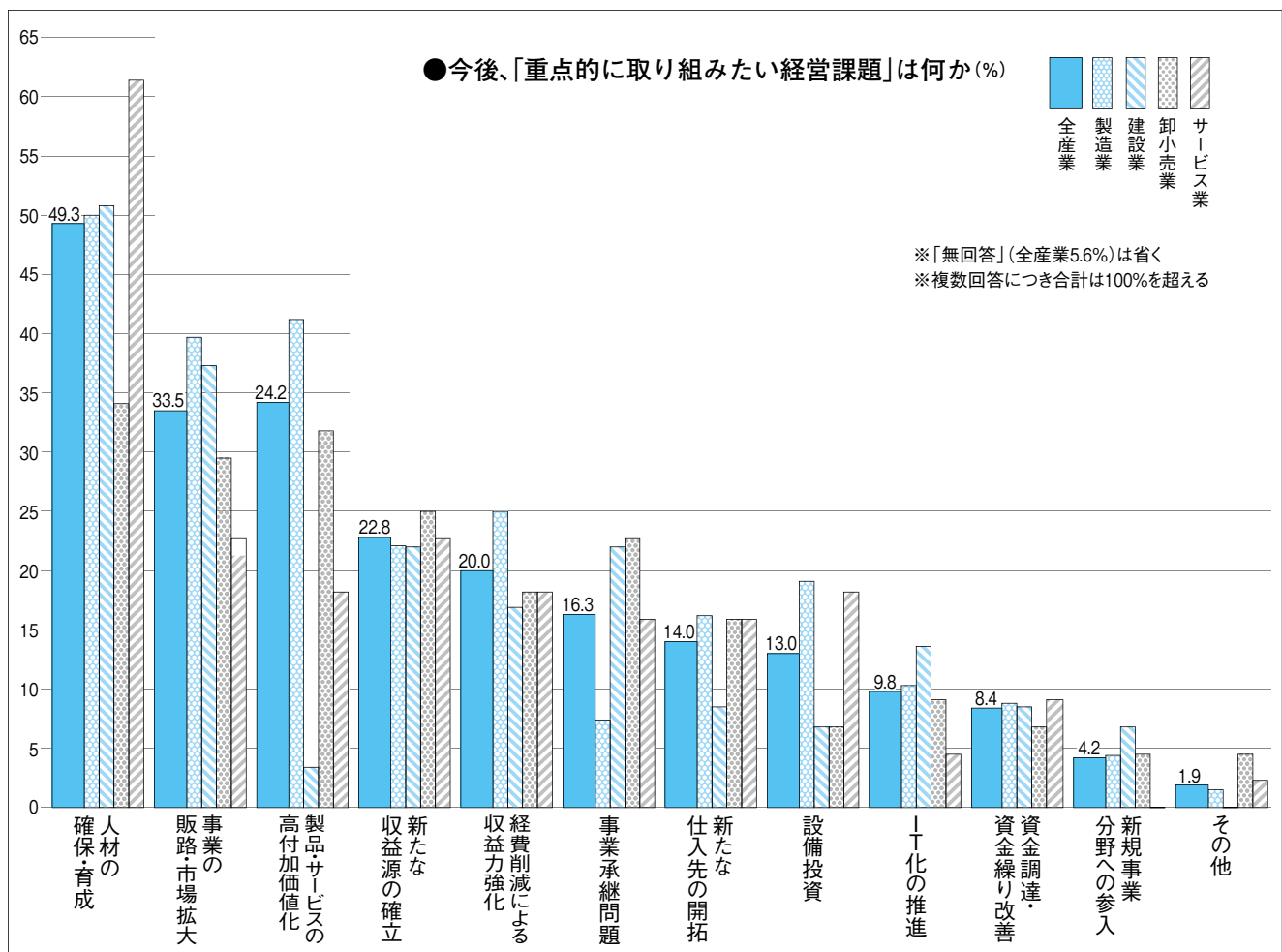
**製造業** 「製品・サービスの高付加価値化」「事業の販路・市場拡大」「経費削減による収益力強化」「設備投資」「新たな仕入先の開拓」は4業種の中で最も高くなっています。

**建設業** 「IT化の推進」「新規事業分野への参入」は4業種の中で最も高くなっています。

**卸小売業** 「新たな収益源の確立」「事業承継問題」は4業種の中で最も高くなっています。

**サービス業** 「人材の確保・育成」「資金調達・資金繰り改善」は4業種の中で最も高くなっています。

◇次号は「外国為替・金利・インフレ」に関するアンケートを予定





## 今までの技術を活かして 新たな分野へチャレンジ

株式会社 柳原製粉機  
代表取締役社長 小澤淳一さん

### ●創業の経緯をお聞きます…

1938(昭和13)年に合名会社柳原製作所を創立。1946(昭和21)年にそば粉用の「ロール製粉機」第1号機の開発が当社のルーツとなります。当時は「柳原式製粉機」と呼ばれ、そばの産地である長野県の製粉メーカーや飲食店を中心に重宝されていたようです。その後、2002(平成14)年、(有)ヤナギハラを設立。2006(平成18)年に社名を(株)柳原製粉機に変更しました。

当時は、そば粉を生産するメーカーだけでなく、そば店でも導入できるほどの小型製粉機に特化したメーカーとして成長しました。さらに業績を伸ばすために全国へ販路拡大を目指す中、2017(平成29)年、業界大手の明治機械(株)から、当社の全株式を取得し子会社化したいとの打診があり、お互いのシナジー効果が見込まれることから受け入れました。そして、2020(令和2)年に明治機械(株)柳原事業所となり、2023(令和5)年に、(株)柳原製粉機として事業を再開し現在にいたります。

### ●業務の概要をお聞きます…

小型製粉機の製造メーカーとしてロール製粉機と石臼製粉機を主軸に、そば用脱皮装置、ミキサー、製粉プラントの関連機器の設計・製造・販売を行っています。そば粉だけでなく、小麦粉、米粉、香辛料など製粉業界のニーズの多様化に応えるための開発・製造も行っていますが、やはり看板商品は“そば粉製粉機”で、業界でも高い評価を得ています。販路は、北海道から九州までのほぼ全国になります。

親会社である明治機械(株)の大型ロール製粉機は、日本国内の三大製粉企業等に納入されてい

て、国内では高いシェアを誇っています。当社は小型ロール製粉機の製造をメインにしており、前述のとおり主な販売先はそば店などの飲食店や、小規模製粉会社です。例えば、明治機械(株)の大型ロール製粉機は1時間に1トンほど製粉する能力を持っていますが、当社の小型ロール製粉機では1時間に60kgほど、石臼製粉機なら2kgほどと大きな差があります。特に石臼製粉機は回転速度を上げれば多くの製粉が可能ですが、それではそば粉に熱がかかりそばの風味が悪くなり、喉ごしにも大きく影響します。そば店は当然ですが“粉”にこだわりを持っています。その店の“こだわりの粉”ができるまで、何度も何度もロールや石臼の目立て(溝)加工、回転速度などを微妙に調整させていただいてから納品します。この点は長い歴史と確かな技術によるものだと自負しております。

小型ロール製粉機は製造しているメーカーが比較的少なく、広いお客様先で使用していただいておりますが、石臼製粉機の方は製造している企業が多く激戦となっています。このため、小型ロール製粉機、石臼製粉機とも、アフターサービスやメンテナンスを充実させ、差別化を図っています。的確なメンテナンスを行うためには従業員の技術の向上が欠かせません。当社では工具の使い方研修や階層別・職能別の研修を実施しています。ベテランから若手への技術の伝承を確かなものとし、会社全体のスキルアップを図り、お客さまにまた選んでいただけるよう努力しています。また当社は、地元高校生の職業体験、就業実習を毎年受け入れており、地元への貢献策として今後も継続していきたいと考えています。

### ●今後の方針や夢をお聞きます…

今後も、いままで培ってきた技術を大切にしながら、より良い製粉機を作り続けていきたいと思っています。この技術をほかにも活かせないかと考え、現在、石臼製粉機を使った二つのプロジェクトを立ち上げ商品化を目指しています。

一つは「抹茶」です。現在インバウンドなどの影響で日本茶がブームになっており、その中でも「抹茶」が世界に認められ需要が急増しています。その抹茶用石臼製粉機を開発中です。

二つ目は「コーヒー」です。通常、コーヒー豆を挽くときにはミルを使用しますが、石臼製粉機を使用することにより、味や風味が違うのではないかと考え、試行錯誤して試作機を作りました。昨年、栃木県足利市に明治機械(株)の事業所があることから、地元の「足利尊氏公マラソン大会」にブースを出店し参加者にコーヒーを提供したところ、好評を得ました。これら二つ

の製品の販売を目標に力を入れていきたいと考えています。



石臼製粉機



工場内部



若手社員がデザインしたコーヒー粉試作品のパッケージ



ロール製粉機

●業務の概要

創 業 2002(平成14)年  
 資本金 2,500万円  
 代表者 小澤 淳一  
 従業員 15名(男13・女2)  
 業 務 製造業  
 事業所 長野市大字南長池412-3  
 U R L <https://www.yanagihara-seifunki.co.jp/product/>

●沿革

1938(昭和13)年 合名会社柳原製作所を創立  
 1950(昭和25)年 (株)柳原製作所に組織変更  
 2002(平成14)年 (有)ヤナギハラ設立  
 2006(平成18)年 (株)柳原製粉機に組織変更  
 2017(平成29)年 明治機械(株)が当社の全株式を取得し子会社化  
 2020(令和2)年 明治機械(株)柳原事業所となる  
 2023(令和5)年 (株)柳原製粉機として事業再開

# 北信濃の旅人

## (12) 弥次郎兵衛と喜多八 ⑨

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



### これまでの旅

江戸生まれの弥次郎兵衛と喜多八(北八)は、四国の金毘羅大権現から安芸の宮島まで旅した後、中山道を通って帰ることにしました。これが『東海道中膝栗毛』に続く『続膝栗毛』の旅です。

2人は洗馬宿から善光寺街道に入って、松本城下から穂高を通り、大町を経て新町宿(信州新町)の旅籠に宿泊しました。稲荷山宿に向かう途中で腹が減り、出会った土地の人の好意で「もろこし餅」をふるまってもらいましたが、口に合わず逃げるようにその家を後にしました。

### 稲荷山宿

弥次郎兵衛と喜多八の2人は足早に先を急いで、ようやく稲荷山宿に出ました。ここは善光寺街道の宿場で、往来する旅人たちでにぎわっていまし

た。茶屋もたくさんあるので、まずはここで思う存分食事をして、ようやく元気を取り戻しました。稲荷山宿で詠んだ狂歌

さるにてもかくひもじさにあやまった稲荷山にて腹を肥やせり

### 現代語訳

それにしてもあれほどの空腹にはまいった。「謝った稲荷」(頭が上がらないさま)ではないが、稲荷山で腹を満たした。

### 犀川の渡し

稲荷山宿を出て、篠ノ井追分と丹波島宿を通り過ぎて、犀川の渡し場(丹波島の渡し)に着きました。この渡し舟は、兩岸から張り渡してある綱を伝って渡るようになっています。



十返舎一九著『戸隠善光寺往来』に描かれた丹波島の渡し

丹波島の渡して詠んだ狂歌  
早川を舟で向こうへ渡辺  
綱一筋を頼りなりけり  
現代語訳

流れの速い川を向こう岸へ渡るには、渡辺綱ではないが、綱一本が頼りである。

渡辺綱は平安時代中期の武将で、源頼光の四天王の1人として知られています。

### 善光寺宿

こうして善光寺の町に着くと、さまざまな店が軒を連ねており、言いようもない繁昌ぶりです。両側の旅籠から声がかかります。

「はい、屁垂屋十兵衛でございます。泊まっておいでになりませんか？」

「お荷物を預けておいでになりませんか？ 爛鍋屋長四郎でございます。お泊まりくださいませ」

宿屋がそれぞれ自分の名を大声で呼んで旅人を招くのが、この土地の風習なのです。

このあたりでは「十」を「じょう」と言い、「丈」を「じゅう」と言い、「京」を「きゅう」、「久」を「きょう」と言うことばのなまりがあります。だから十兵衛は「じょうべえ」と聞こえるのです。(このなまりは、作者の十返舎一九が直接体験したことなのでしょう。)

### 善光寺門前の旅籠

1軒の旅籠の前で喜多八が、「どうだ、ここらに泊まるか」と言ったので、旅籠から「お入りくださいませ」と声がかかりました。弥次郎兵衛が「では2人お願いします」と言って、2人が店に入って腰をかけると、早速茶を入れて運んできました。

2人が茶を飲んでいると、西国三十三番の巡礼たちが20人ほど、どやどやと入ってきました。

巡礼「我々は九州肥後の者じゃが、旅籠はいくらで泊めてくださるな？」

旅籠「150文(ひゃくごじょうもん)が決まりでございます」

巡礼「いや、我々はそんなに出すことができん。仲間は大勢じゃ。あれこれ言わずに、まけて泊め



丹波島橋北詰に残る丹波島の渡しの常夜灯

てください。そのかわり我々は何も要らんよ。飯が7、8杯に、汁は6、7杯も食うが、椀を代えては食わんよ。昼飯はこの柳行李の弁当にいっぱい詰めてもらえば、それだけで何も要らん。旅籠代は1人80文ずつ出しましょう。よければ泊めてください。……ああ、今日はひどい道をあちこちいっぱい歩いてくたびれた」

旅籠「それでは120文(ひゃくにじょうもん)ずつでお泊めしましょう」

ということで相談がまとまり、巡礼たちはそれぞれ荷物をそこに置いて、善光寺へ参詣に行きました。

### 善光寺

弥次郎兵衛と喜多八も、風呂敷包みと笠などの荷物をそこに預けて参詣しました。

善光寺で詠んだ狂歌

据え膳の善光寺とて有り難や衆生済度も噛んで  
噛める

現代語訳

据え膳のような善光寺ということで有り難いことだ。その衆生済度は噛んで含めるように分かりやすい。

4月号は「弥次郎兵衛と喜多八⑩」の予定です。

◆生活の「悩みや不安」

「物価高」53.2% 「自分や家族の健康」30.8% 「家計の収入」22.4%

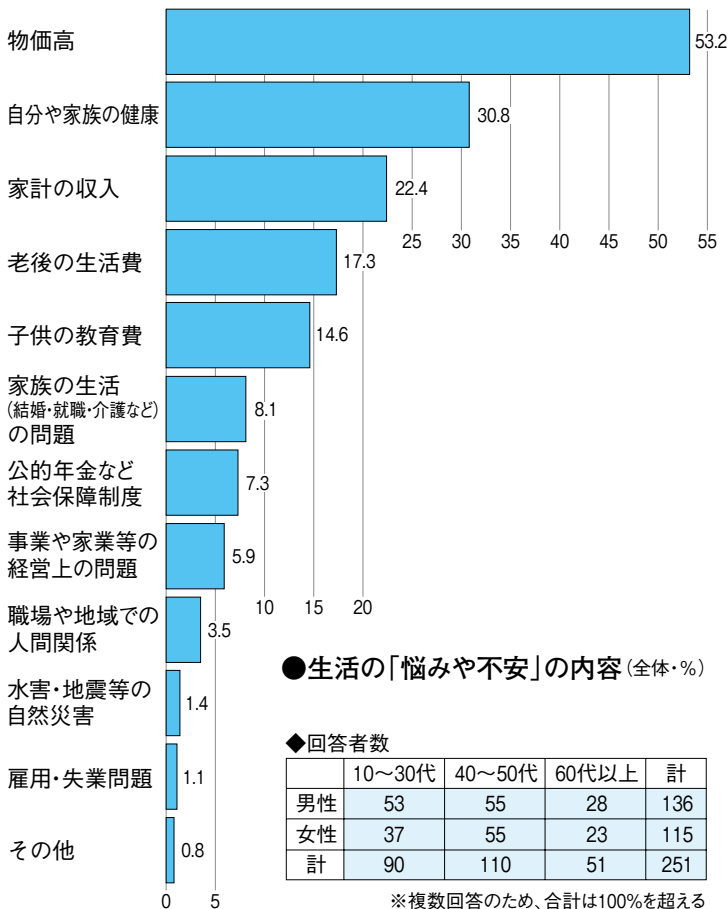
前号で「生活の中で悩みや不安を感じている」と答えた67.8%の方に、その「悩みや不安の内容」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、1位は「物価高」で53.2%、2位は「自分や家族の健康」で30.8%、3位は「家計の収入」で22.4%となりました。

男女別で1～3位を見ると、男性、女性ともに全体と同様の順位となっていますが、女性の「物価高」への不安は男性の51.9%に比べ3.0ポイント高い54.9%となっています。

世代別で見ると、10～30代で2位と3位が逆転しているほかは全体と同様という結果になりました。各世代とも「物価高」と答えた方が半数を超えており、悩みや不安の第1位となっています。

〈当金庫・2025年12月調査〉



●生活の「悩みや不安」の内容 (全体・%)

◆回答者数

	10～30代	40～50代	60代以上	計
男性	53	55	28	136
女性	37	55	23	115
計	90	110	51	251

※複数回答のため、合計は100%を超える

●みなさまの税務相談のご案内 [4月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
4月 2日 木	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	4月 16日 木	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
3日 金	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	17日 金	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)
8日 水	長池支店 (大豆島支店)		21日 火	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
9日 木	本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	22日 水	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日 月	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	24日 金	本 部	
14日 火	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	28日 火	本 部	

